


たんぽぽほほ



NO. 30
H1.11.30
—発行—
〒869-12
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
TEL096
293-8100

百円と百五十円

理事長 田中 絵

先日、地元大津町で今流行の地域おこしの一環として『第一回からいも祭り』がありました。古い人に話を聞くと、昔は大津街道に沿って一面のそば、いも畑であった様です。久し振りで大津の町が賑わいました。

『三気の里』も開園時の雑草の繁る荒地を園生が汗を流し、一輪車を押して整地開墾してくれて見違える様な畑が出来ました。今年もいろいろな物を作りました。とうもろこし、キャベツ等沢山出来ました。勿論、からいもも作りました。園ではこれらの作物を小さなビニール袋に入れて園を訪れる人や保護者を買ってもらっています。収入は園生に還元されます。

二人の指導員が玄関先でからいもを百円にするか百五十円にするかで口論しています。一人は『以前も百円で売った事があるし、残ってもしようがないから安くして多くの人に買ってもらった方が良い』他の一人は『百五十円でしか売った事はない。』園生の汗の結晶を安くは出来ないとばかり肩間にしわを寄せて譲りません。少々大人気ない気もしますが真剣です。

熊本県では毎年県下の福祉施設台同で福祉祭りがあります。今年は城内二の丸公園で開催され、各施設がテントを張ってなかなか壮観でした。各施設の園生が作った野菜、果物、工芸品（焼物、竹細工、木工、手芸品等）を展示即売します。バザーや演奏、踊りもありました。ずらりと並ぶテントを

見て廻ると、こんなに沢山の施設があるのか、そして皆頑張っているなあと驚かされます。

私も日曜日の昼頃『三気の里』のテントの中で少々お手伝いをしました。声を出して『安いですよ、どうですか！』と売るわけですが今年は『枝まめ』が好評でした。

見ていますと、福祉祭りに来られる方はもともと福祉や障害児者に行くらかでも関心のある人が多いのですが、お金を出して物を買うという時にはやはりそのお金に見合った物しか買われません。お金はその人にとっても大切な物ですから。福祉だから障害者だからといった甘えは許されない厳しい一般社会のルールがそこにはあります。『平等』とか『社会参加』の厳しさがそこにあります。



療育シリーズ

木工作業

園長 土井尚典

家の解体材の釘抜きから始まった木工作業は何とか軌道に乗って来た。一本の古材に刺さっている一本一本の釘を抜くのだという課題を理解した園生、一本の古材に刺さっている釘を全部抜くのだという課題を理解した園生、一本全部抜いたら、次の木に移るのだと理解した園生など課題の理解に差があるものの楽しい場面となってきた。しかし、一本の釘を抜いて手を止める園生の中に次の指示を待っている園生と一本抜いてポーツとしている園生がいるし、また何本か抜いてスーツといなくなる園生など違いがあった。その理由には気にいった道具を使いたいという事だったり、同じ道具でも気に入ったいつも使っているものではないといけないという場合もあった。

課題を「やらなければならぬ」「おもしろい」と感じた園生は遂に行力(持続力)が出て来ていた。一方、「やりたくない」「おもしろくない」と感じた園生はスーツと自分の世界に入ってしまったという。そこで、釘抜き作業という題材のなかで、二人一組にして、木を押さえている仕事、釘を抜いた木を運ぶ作業に課題を変えることにより作業に参加できるようにしてきたケースもあった。

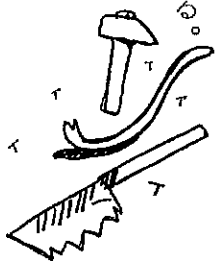
木工作業の狙いは色々な道具の使い方を覚えて欲しいし、様々な作業工程の一つの責任を受け持つて欲しい訳である。個性や興味を尊重していたのでは将来必要な技術を指導出来ない。気が付くと園生に追従している感がある。一方、木工作業のなかで園生の個性や興味もみつけて、大切にしなければならぬ。木工作業はただの題材にしかすぎないなどの考えが出て来た。そこで、作業指導の目的に帰ってみることにした。

作業指導の目的は①指示に従う

②一生懸命仕事をするである。興味や個性にとらわれていると作業指導の目的が吹っ飛んでしまう。無理にやらせようとするとパニックになってしまうし、作業に来る事さえ拒否してしまう。結論は何を指導したいのか、育てたいのか、の目的で腹をくくるしかない。

厭な仕事を毎日ゴリゴリとやらせたら、ストレスが溜まり反応性の障害を引き起こすのではないかという反論もあるが、自閉性の障害者では、むしろやるべき仕事を決めてやるほうが、激しい衝突があっても早く安定し、持続力が高まったようである。ただし、仕事の課題を理解してやっているかは悲しいかな、別問題である。

仕事の課題や楽しさは職員や仲間間の表情や動きから伝わって行くように感じられる。



愛護製作日誌 第二十八号



末永 博美

去る、十月二十日、二十二日の三日間、二の丸公園にて、第十回熊本県精神薄弱者施設の作品展と即売会が開催され、三気の里も出品しました。今回、会場となった二の丸公園は、熊本県民のシンボルとも言える熊本城の一画に位置し、周辺には美術館、図書館等があり、感性あふれるような環境で、県内の施設が一同に集まり、期間中は天候にも恵まれ大変多くの方々にご来場頂きました。さて、三気の里のコーナーでは、園生四名と指導員が、汗にまみれ、土によごれ、切り傷をしながら作った、木工品及び農作物を中心に、保護者会からはお母さんたちが作ったアクセサリーも販売しました。即売品の中から枝豆について紹介します。枝豆が収穫された畑は、阿蘇山が一望できる久木野村の一画で約三反もある畑です。地主の

興呂木さんのご好意により借地しているもので、3班園生の主力農作場で作りました。販売した人は、園生の神沢さん、職員の大塚さんのお母さん、保護者会のお母さんと一緒になって、根気よく、元気に、販売し、最終日には理事長が会場にかけつけ、お客様に呼び掛けセールスをしていました。「いらしゃいませ、ビールのつまみに枝豆はいかがですか」と言う具合で、頑張りました。次回には、園生の作品を一点でも多く出品したいと思えます。協力して頂いた方々へ感謝致します。



ぼらんていあ通信

早いもので今年ももう十二月。街のあちこちにクリスマスツリーやサンタクロースの姿が見られます。今年の三気の里のクリスマスパーティーは、なんと仮装パーティー

！。みんなでいろんな衣装を付けて、ワイワイやります。今年最後の行事です。皆さんもすっかり化けて遊びに来て下さい。サンタクロースも募集中です！

クリスマス会

12月21日(木)午後7時



ボランティアありがとうございます

11/9 1班レクレーション

城 賢一さん

11/16 3班レクレーション

金丸綾子さん

11/23 学習会(木工遊び)

鶴田雅彦さん 北添泰生さん

小野リカさん 宮崎直子さん

永井ひろみさん

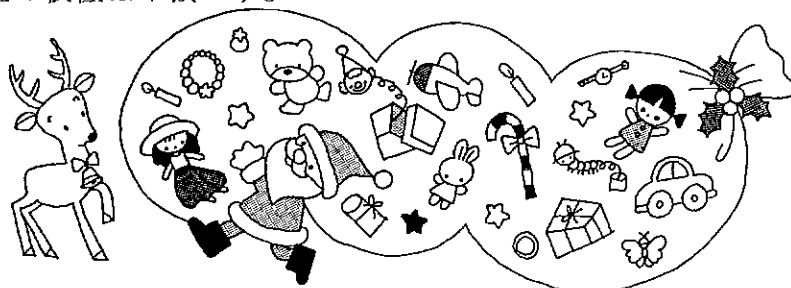
11/26 屋外作業

天使園の皆さん

3班 - THE 根性 3333段

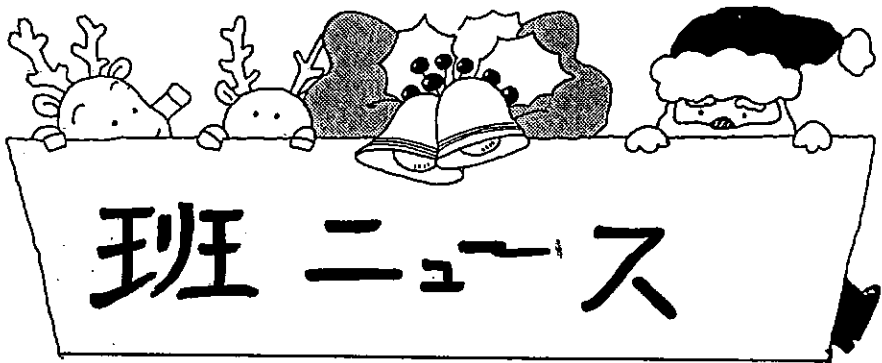
山が紅に染まり始め、風が冬の寒さを運ぶ11月。3班は自然に親しみ、自身を鍛えようと、中央町の釈迦院御坂石段へ出掛けました。先月の4班の体験談を参考に、練りに練った計画は《登る》事だけにポイントを置いた『バスは釈迦院駐車場で待っている編!』 段頂より1堀歩いた所におやつを積んだバスがあるというやつでした。AM11:40にスタート。百段目で既に汗だくだく。おやつは遠い。七百段目、息がゼイゼイ。憲ちゃんは余裕で土遊び。千七百段目、『ご飯にするよ〜』の声で少し気が楽になったが…。突如現れた犬3匹にマー君は『みのる君、おわり。』 新ちゃんは階段を下りだし、建ちゃんは片隅へ。博君は『アー!』と言い出しみんなあたふた。一難去ってまた一難。

そんなこんなで二千段が過ぎ二千三百、八百段とそして三千段。段頂が見えてるにもかかわらず、着かないのにイライラして涙と汗まみれで登った啓君。『登るしかないよー』『バスに乗らんと帰られんけんねー』の声に真顔になって登った哲ちゃん。『おやつがバスにあるよー』にそそくさと駆け上がった一章君、やっちゃん。そして最後はへたばりながら見知らぬ人に手をひかれながらやっぱり泣きべそかきながら登った希久ちゃんでした。釈迦院でお参りしてバスの中でのおやつはおいしかった。『又、来る人?』『イヤ!』だって…それでも3班の根性は不滅です。 大塚



4班 - 食欲の秋

寒〜い寒〜い空の下、ただひたすら土と戯れている今日このごろですが、今回は、丹精込めて作った作物を是非買って頂きたくここに紹介します。今年は、昨年の失敗経験から少しは農耕のノウハウが理解出来てきて、やっと自分達のペースがとれてます。そのせいか作物も次から次へと立派な物が出来て、今食べ頃なのが《キャベツ》《やまいも》《大根葉》で、もう少しで収穫出来るのが《大根》《白菜》等です。以上のように彼らと四苦八苦しなながら作った作物は、彼らの成長と共に大きくなってます。一見、八百屋さんに並んでいる野菜と一緒にですが、実は中身が違います。彼らの気持ちが入ってます。料理をすると、実に良い味を出します。是非買って食べて下さい。この包にも四季を通じて色々な野菜が作られています。季節に応じて、彼らの気持ちを食べてみてはどうですか…。 坂本由



1班・ウインドウショッピング

11月9日(木)に1班は、ある園生の要望に応じて熊本市へ買い物に行きました。今回は、お昼には市役所の地下食堂で皆好きな物をそれぞれ食べた後、3つのグループに分かれて行動しました。食べ歩き、本屋見学、デパートでの買い物、スロットマシンで遊んだり等それぞれのグループが一人千円の小遣いの中で1時間半の間充分楽しむ事が出来ました。また、事務長のお友達の店に最後に集まり、ジュースやおやつなど御馳走になりながら反省会をやり、一人一人した事や買った物をみんなに報告して終わりました。今回のレクを終えての感想は、みんなもっとももっといろいろな事が出来るんだなという事でした。山登り等が多かったけど、今からはいろいろな事に挑戦していきたいですね。ボランティアに来て下さった城さん、また御馳走して下さいましたテニスクラブの店の方ありがとうございました。

p s 忠ちゃん念願の鶴屋はどうだったかな？

武藤

しもうけ

2班・大受けした下笠ダムの旅

快晴、絶好のドライブ日和、悠長なハンドルさばきが幸？してか職員の多くは少々げんなり、バスから降りるとそこに広がる下笠ダムの広さに、気分も快方に向かったのは言うまでもなかった。

今回のドライブは木イチゴ取りといった目的もあり、私はすぐその木のあるところへ向かった。ところが、園生や他の職員は薄情にもさっさと広場へ行って、お弁当を広げる準備である。イバラに悩まされながら数本の木イチゴを採って行くと、「お弁当おいしいよ」と言ってくれたのは民さん。後は「おやつは？ジュースは？」とそればかり。私も思わず弁当にかぶりついた。

厨房の岩本さん、事務の多田さんと珍しいコンビで散策、きれいなユリの花を見付け、持って帰ろうと、道具を取って戻ってみると…アッ花がない！どこかと探してみるとありました、武彦くんの右手の中に。おなかを抱えて笑ったのはあっこちゃん、清田さん！そんな雰囲気拘わりなくあちこち散策は文ちゃん、英ちゃん、浩ちゃん、俊ちゃん、所狭しと動き回っていました。

帰りのバスの中、起きていたのは運転手と園生だけでした。

坂井

作品展示会

大塚美恵子

去る、十月二十日、二十一日に二の丸公園で催された、作品展示会場に、散歩方々、主人と出掛けました。三気の里の展示場で掘りたての里芋、薩摩芋を買いました。その時に私も何かの手伝いが出来ることがあればと思いい職員の方にお話をしましたところ、お許しを頂きました。

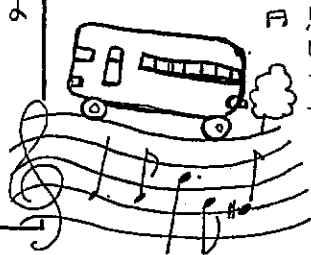
各施設色々計画されての作品展示即売会とあり大賑わいでした。手芸品、工芸品、野菜など、良い品物が安く売ってあるのが印象的でした。秋晴れの天気にも恵まれて、お祭り広場では歌あり踊りあり、舞踊ありで二日間楽しい広場でした。

子供から、園の行事の事や話を聞いているうちに、日ごろ、自分のドジした話を耳にするとき、私にとって気になることで一杯です。思えば子供が三気の里に勤めて、三年の歳月が流れ、周りの職員の方々、園生のご父兄の方々に支え

られて、勉強させて頂いておりませんことを、何よりの宝物と感じています。私もお手伝いとは名ばかりで、教えて頂くことばかりでしたが、私にとって楽しい思い出もあり、勉強でもありました。また、機会がありましたら参加させて頂きたいと思えます。

ただいま

食卓堂 営業中



十一月五日、私たち栄養士五名は、志摩学園の文化祭に行きました。五名全員がいにしよに研修に行くのは初めてです。私たちの他に数名の職員も行きみんな胸ワクワクで出かけました。途中迷子になりかけながらも地図を頼りに無事志摩学園に着きました。着いたのはちょうどお昼。見学の前にま

ずは腹ごしらえ。オレンジ色がポイントのきれいな食堂でカレーライスを食べました。それから園内を見学させてもらいました。バザー、もちつき、わたあめ、子供達の絵や写真どれもこれも分かり易く展示してありました。コーヒを飲んでいると食堂の方から賑やかな声が聞こえて来ます。行ってみるとカラオケ大会です。楽しく思わず見入ってしまった。厨房の外へめったに出れない私達にとってキョロキョロしどろしの楽しい一日でした。歓迎して下さいました志摩学園の皆さんありがとうございました。

岩本



合宿研修

伊石美鈴

平成元年十月二十五日の事であった。この日、天草郡大矢野町で合宿研修会が行われ、三気の里からは、新人Aの東と新人Bの伊石がこの研修に参加すべく、慌ただしく三気の里を後にしていた。

合宿研修では、まず、「命をみつめて」という題で講演がありました。この講演の中で幸せの原点は家庭であるという言葉に共感を受け、また、命というものを改めて考えさせられるような講演でした。その後分科会に分かれて、色々な面から意見交換が行われ、親亡き後の家族とのつながりや、兄弟会についての各施設の考え方や又実践などを聞き切実な思いが感じられ考えさせられました。分科会の中では率直な意見を聞くことが出来たと思います。そして今回の研修の一番の楽しみ(?)懇親会では先程からの緊張の糸がプツンと切れてしまったようで、つ

いテーブルの上で跳びはねるエビを見ていつものごとく大声をあげ会場の注目を浴びたのは私です。でも、天草の海の幸は本当においしく忘れられない思い出となりました。今回の研修で色々な方と出会うことができ、語り合うことが出来たことを大変うれしく思います。今後の生活の中に少しでも生かして行けるよう頑張りたいと思います。本当に皆さん御苦労様でした。



気になる

栄養の託

皆さん、お待ちかねの「実りの秋」がやって来ました。八百屋さんの店先には、色とりどりの野菜や果物、きのこ等「私が主役」と言わんばかりにたくさん並べられています。その中で一番カラフルなのが果物。梨、りんご、みかんおまけに輸入された果物まで目を惹かせてくれます。果物は、ビタミンCやカリウムそして整腸作用のある繊維を含んでいて、野菜と肩を並べる位素晴らしい食品です。ところが、果物と野菜には大きな違いがあります。それは、果物には果糖(甘み)がかなりたくさん含まれているという事です。そのため、つい食べ過ぎるとエネルギーオーバーになる心配があります。果物は野菜の代わりにはなりません。果物だから大丈夫と思わず、太り気味の人はちょっと注意が必要です。

岩本

1 2月の行事予定

1(金)	11(月)	21(木)クリスマス会 動作法
2(土)シート交換	12(火)	22(金)
3(日)	13(水)	23(土)
4(月)	14(木)1班ㄱ 動作法	24(日)
5(火)	15(金)3班ㄱ 防災訓練	25(月)
6(水)体重測定	16(土) ↓ シート交換	26(火)
7(木)2・4班ㄱ 誕生会 動作法	17(日)	27(水)大掃除
8(金)	18(月)	28(木)帰宅日 シート交換
9(土)帰宅訓練日 父兄会	19(火)	29(金)冬季帰宅
10(日)	20(水)	30(土) ↓
		31(日) ↓

後援協会だより

平成元年度後援会会員紹介

佐藤多賀子

松田構成

砂野征三

上田昌幸

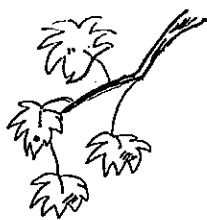
十一月二十五日付け

※敬称略

紅葉の美しい季節ですが、三気の里は阿蘇山からの吹きおろしで冷たい風をうけています。

皆様は風邪などひかず、元気で過ごしてらっしゃいますか？

三気の里のみんなは、冬の楽しい行事やレクリエーションの計画をたてています。もちろん寒さに負けず、作業もがんばっています。今月は四名の方が入会してくださいました。ありがとうございます。



やろう会

十一月日程

5日(火)魚谷

7日(木)村上・満塩・清田

9日(土)石崎・岡崎・坂本

安部・高野

14日(木)藤崎・桜木・上野

21日(木)井手上・国本・元田

のんき

▽《秋》曇り空であたりは今にも雪が降りそうにしている。暗かった。ふと運動場の方を見るとスポットライトをあてたように輝くものがあった。すっかり黄色にいろづいた。ちちょうの木がそこにあった。▽《にわとり》2班のにわとり小屋にいくと一斉ににわとりは皆こっちを向いて近よってくる。葉っぱをおくれとせついでくる。暇があると泰ちゃんはいいていにわとり小屋にいて葉っぱをあげている。だからにわとりは誰がきても嬉しそうにして近よってくる。

坂本信